



波紋

発行所 教育活動総合サポートセンター
〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8
E-mail support0731@luck.ocn.ne.jp
URL <http://www16.ocn.ne.jp/~smi/>

日本語指導の取り組み

こどもサポート

東小倉

外国につながる児童生徒の居場所づくり



こどもサポート東小倉は、日本語を母語としない外国につながるこどもたちの居場所や日本語の習得、学習の遅れを補うことを目的として平成24年に幸区役所生涯学習支援課が開設した。サポートセンターがその委託を受け東小倉小学校の多目的教室を拠点に活動を行っている。



担当活動会員の堤直美さんは「幸区役所の方々、幸区役所の日本語指導養成講座を受講したボランティアさんたちの方々の積極的な協力で楽しい居場所づくりを目指しています。」と話していた。同じく活動会員の山口志げさんも勉強中の中国語をたくみに使って日本語指導にあっていた。

訪問した7月2日は高温多湿。3時頃から集まるこどもたちも汗だく顔。「冷房設備が・・・」と口にしたサポーターの言葉が耳に残った。

功労賞を受賞

川崎市制90周年記念式典で授与

平成26年7月1日、ミューザ川崎シンフォニーホールにおいて、「川崎市制90周年記念式典」が開催された。サポートセンターは「市民生活を支援する継続的な活動」として「功労賞」が授与された。開設10周年を経過したサポートセンターの業績がみごとに花開いた証である。井口、宮田、佐々木各歴代理事長をはじめ、先達の方々の教育に対する情熱と努力の賜として敬意を表するとともに、所員一丸となってこの業績を引き継ぐ思いである。



学習支援 居場所サポーター 研修会 開催

8月の行事予定



子どもの学習支援・居場所づくり事業

7月5日(土)川崎市教育会館において「学習支援・居場所づくりサポーター研修会」が開催された。この事業は厚生労働省が平成24年度予算化し、本市では健康福祉局生活保護・自立支援室が中心となり「子ども学習支援・居場所づくり事業」として発足したものである。発足に当たり、当サポートセンターでは本告事務局長が中心となり活動場所の折衝、コーディネーター及び学習支援専門員の人選、学習環境整備に努め今日に至っている。

日	曜	主な行事
1	金	学習支援集中講座(川崎②) (南)安全点検
4	月	(青)エコチャレンジクラブ③
5	火	(青)プール開放(7日まで)
6	水	研究推進委員会10:00 宮ノ下 (旭)読み聞かせ15:00
7	木	(南)情報交換会③ (旭)読み聞かせ
8	金	第2サポート役員会、 役員会 14:00 教育会館 (南)子育てサロン (山)中学生のための郷土理解講座①
10	日	(青)KYWC
11	月	
12	火	サポートセンター夏休み
13	水	
14	木	夏期宿泊学習(青少年の家)
15	金	(山)こども探検クラブ
19	火	(青)プール開放
20	水	学習相談部会10:00 宮ノ下
21	木	(旭)水泳(山)こども探検クラブ
25	月	(青)KYWC (旭)クッキング、読み聞かせ 昭和女子大インターシッブ ~9/5
28	木	(南)読み聞かせ
29	金	事務局会 9:30 教育会館



青木幸夫講師による講演で研修会開催



編集後記

『目は一世代、耳は二世代、味は三世代』という言葉があるようだ。一代で極めるものもあれば、祖父母や親の代の積み重ねがあってこそ極めることができるものもあるとのことだ。

設立10周年を迎えたサポートセンターは、90周年を迎えた川崎市より功労賞の栄誉を授かった。サポートセンターの祖父母、親であった先輩方の大きさをひしひしと感じた授賞式であった。

「子たちに力を」を受け継いでいる私たちの学習支援活動をさらに充実させ、次の代へ伝えなければならない。



各分科会ごとに活発な話し合いが行われ、中学3年生の学習方法、教科の指導法などの意見交換が話題となった。成績の向上、高校進学に結びつく支援のあり方等を実践していく意欲がみなぎっていた。